

2027年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年9月24日

上場会社名 株式会社大光 上場取引所 東
 コード番号 3160 URL <https://www.oomitsu.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 金森 武
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部 (氏名) 秋山 大介 TEL 0584-89-7777
 長兼総務部長
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年5月期第1四半期の連結業績（2026年6月1日～2026年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年5月期第1四半期	20,603	9.4	△3	—	9	△71.3	△9	—
2026年5月期第1四半期	18,825	3.3	42	△64.8	31	△76.4	4	△93.8

(注) 包括利益 2027年5月期第1四半期 △8百万円 (—%) 2026年5月期第1四半期 43百万円 (△3.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年5月期第1四半期	△0.66	—
2026年5月期第1四半期	0.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年5月期第1四半期	28,348	6,126	21.6
2026年5月期	28,903	6,241	21.6

(参考) 自己資本 2027年5月期第1四半期 6,126百万円 2026年5月期 6,241百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年5月期	—	7.50	—	7.50	15.00
2027年5月期	—	—	—	—	—
2027年5月期（予想）	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年5月期の連結業績予想（2026年6月1日～2027年5月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	41,200	8.8	20	—	20	△82.9	5	△94.6	0.35
通期	85,600	7.6	630	295.2	630	85.7	400	603.6	28.02

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年5月期1Q	14,883,300株	2026年5月期	14,883,300株
② 期末自己株式数	2027年5月期1Q	606,712株	2026年5月期	606,712株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年5月期1Q	14,276,588株	2026年5月期1Q	14,646,160株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(追加情報)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境などの改善により、景気は緩やかに回復しております。しかしながら、不安定な国際情勢の長期化や為替相場の変動、継続的な物価上昇など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主要販売先である外食産業におきましては、インバウンド需要などを背景に回復基調にあるものの、原材料価格や物流費の上昇、慢性的な人手不足は改善しておらず、厳しい状況が継続しております。

このような環境のなか、業務用食品等の卸売事業である「外商事業」においては、既存得意先との深耕を図るとともに、多様な外食産業に対する新規開拓に注力してまいりました。また、業務用食品等の小売事業である「アミカ事業」においては、新規店舗を開業するとともに、品揃えの充実化や営業活動の強化など、来店客数の増加に向けた取り組みを進めてまいりました。

両事業におきましては、収益性の向上を図るため、当社プライベートブランド商品や業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランド商品の販売強化と全社的な業務の効率化を継続して行っておりまいりました。

さらに、水産品の卸売事業である「水産品事業」では、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、既存得意先との深耕を図るとともに、輸出版売の推進や新規得意先の開拓など販路の拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は206億3百万円（前年同期比9.4%増）、営業損失は3百万円（前年同期は営業利益42百万円）、経常利益は9百万円（前年同期比71.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は9百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益4百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(外商事業)

当事業におきましては、調理の省力化につながる商品や、味や品質にこだわったプライベートブランド商品など、現場の人手不足やコスト高騰などお客様の課題解決に寄り添った提案営業に注力するとともに、給食、病院、中食など幅広い業態への新規開拓に注力してまいりました。また、商品知識の向上に取り組むほか、業務の効率化による人件費の削減や物流費をはじめとした経費の抑制に取り組み、収益性の向上を図ってまいりました。

この結果、外商事業の売上高は142億36百万円（前年同期比14.8%増）、営業利益は99百万円（前年同期比2.5%減）となりました。

(アミカ事業)

当事業におきましては、各店舗において品揃えの充実化や営業活動の強化を図るとともに、メーカーフェア等の販売施策の展開、SNSやアプリ等を活用した販促活動の強化、家庭内消費に適したアイテム拡充など、外食事業者から一般消費者まで幅広いお客様にご利用しやすい店舗運営に努めてまいりました。新規出店については、2026年6月に郡上八幡店（岐阜県郡上市）を開業いたしました。

この結果、アミカ事業の売上高は57億82百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は1億45百万円（前年同期比26.3%減）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、愛知県・岐阜県を中心として55店舗であります。

(水産品事業)

当事業におきましては、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、大手水産会社をはじめとする既存得意先との深耕を図るとともに、輸出版売の推進や新規開拓の強化に努めてまいりました。また、採算管理の徹底や経費抑制に取り組み収益性の向上を図るとともに、外商事業及びアミカ事業と連携し当社グループの水産品ラインナップ強化を推進してまいりました。

この結果、水産品事業の売上高は6億24百万円（前年同期比15.2%減）、営業利益は1百万円（前年同期比69.3%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して現金及び預金が6億52百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が11億44百万円減少したこと等により、流動資産は全体で7億27百万円減少しました。一方固定資産は、建物及び構築物が45百万円増加したこと等により、全体で1億72百万円増加しました。その結果、資産総額は、前連結会計年度末と比較して5億54百万円減少し、283億48百万円となりました。

(負債)

負債残高につきましては、前連結会計年度末と比較して短期借入金が2億29百万円減少したこと等により、流動負債が全体で1億34百万円減少しました。一方固定負債は、長期借入金が3億38百万円減少したこと等により、全体で3億4百万円減少しました。その結果、負債総額は、前連結会計年度末と比較して4億39百万円減少し、222億22百万円となりました。

(純資産)

純資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して利益剰余金が1億16百万円減少したこと等により、1億15百万円減少し、61億26百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年5月期の業績予想につきましては、2026年7月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	716,179	1,368,515
受取手形及び売掛金	8,529,294	7,385,157
商品	5,705,097	5,577,970
貯蔵品	18,798	18,226
その他	1,214,065	1,105,469
貸倒引当金	△3,618	△3,218
流動資産合計	16,179,816	15,452,120
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,752,065	4,797,803
その他（純額）	3,621,706	3,756,960
有形固定資産合計	8,373,771	8,554,763
無形固定資産	87,040	97,985
投資その他の資産		
投資有価証券	1,670,848	1,682,207
その他	2,601,802	2,571,328
貸倒引当金	△9,952	△9,952
投資その他の資産合計	4,262,698	4,243,583
固定資産合計	12,723,511	12,896,332
資産合計	28,903,327	28,348,452

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,971,412	8,287,410
短期借入金	4,619,000	4,390,000
1年内返済予定の長期借入金	1,485,846	1,435,845
未払法人税等	76,073	26,464
賞与引当金	289,369	151,995
その他	1,403,713	1,418,936
流動負債合計	15,845,415	15,710,652
固定負債		
長期借入金	4,725,241	4,387,108
役員退職慰労引当金	374,840	381,096
退職給付に係る負債	406,435	411,223
資産除去債務	548,450	559,519
その他	761,310	772,620
固定負債合計	6,816,278	6,511,568
負債合計	22,661,693	22,222,220
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,482,063	1,482,063
資本剰余金	1,385,862	1,385,862
利益剰余金	3,242,106	3,125,581
自己株式	△269,550	△269,550
株主資本合計	5,840,482	5,723,956
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	350,497	355,172
繰延ヘッジ損益	357	391
退職給付に係る調整累計額	50,297	46,710
その他の包括利益累計額合計	401,151	402,274
純資産合計	6,241,634	6,126,231
負債純資産合計	28,903,327	28,348,452

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年6月1日 至 2026年8月31日)
売上高	18,825,719	20,603,921
売上原価	15,220,006	16,678,506
売上総利益	3,605,712	3,925,415
販売費及び一般管理費	3,562,929	3,929,044
営業利益又は営業損失(△)	42,782	△3,629
営業外収益		
受取利息	7,788	7,420
受取配当金	5,338	7,875
受取賃貸料	24,703	20,122
受取手数料	5,804	5,989
その他	4,593	20,190
営業外収益合計	48,228	61,598
営業外費用		
支払利息	21,202	33,653
賃貸費用	17,023	12,378
固定資産除売却損	2,859	961
その他	17,930	1,808
営業外費用合計	59,016	48,801
経常利益	31,995	9,166
税金等調整前四半期純利益	31,995	9,166
法人税、住民税及び事業税	9,253	9,676
法人税等調整額	17,806	8,941
法人税等合計	27,059	18,617
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,935	△9,450
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	4,935	△9,450

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年6月1日 至 2026年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	4,935	△9,450
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41,671	4,675
繰延ヘッジ損益	△608	34
退職給付に係る調整額	△2,245	△3,587
その他の包括利益合計	38,817	1,122
四半期包括利益	43,752	△8,328
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	43,752	△8,328

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2025年6月1日 至2025年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	12,401,821	5,709,602	709,153	18,820,576	5,142	—	18,825,719
セグメント間の内部売上高又は振替高	21	5,033	26,652	31,707	—	△31,707	—
計	12,401,842	5,714,636	735,805	18,852,284	5,142	△31,707	18,825,719
セグメント利益	102,561	196,783	5,144	304,488	3,517	△265,223	42,782

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△265,223千円は、当社の本社経費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2026年6月1日 至2026年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	14,236,121	5,775,841	587,311	20,599,273	4,647	—	20,603,921
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	6,613	36,922	43,535	—	△43,535	—
計	14,236,121	5,782,454	624,233	20,642,809	4,647	△43,535	20,603,921
セグメント利益	99,992	145,089	1,578	246,660	2,914	△253,204	△3,629

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△253,204千円は、当社の本社経費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年6月1日 至 2026年8月31日)
減価償却費	146,317千円	162,360千円

(追加情報)

(財務制限条項)

当社グループの借入金のうち、シンジケートローン（当第1四半期連結会計期間末残高2,083,333千円）には、以下の財務制限条項が付されております。

1. 各年度の決算期の末日における連結及び単体の貸借対照表における純資産の部の金額を2023年5月決算期末日における連結及び単体の貸借対照表上の純資産の部の金額の75%の金額以上に維持すること。
2. 各年度の決算期の末日における連結及び単体の損益計算書に示される経常損益がいずれも2期連続して損失とならないようにすること。

なお、当第1四半期連結会計期間末において上記財務制限条項には抵触しておりません。